



新年のご挨拶

たきかわ農業協同組合

代表理事組合長

山岸 穰

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様にはご家族と共に新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は異常な高温の影響で、農産物は全体的に収量が減収しました。

水稲では、作況単収指数全国102、北海道98、北空知96となりました。当地区でも減収になりましたが、品質は平年並みでありました。

畑作物の小麦、ナタネ、蕎麦も平年より減収になりました。

特産の花弁、メロン、トマトも高温の影響を受けましたが、市況が高値で推移したため、平年並みの販売実績となりました。

米の情勢は、単価が大きく上がり、1俵3万円前後の概算金が設定になりました。生産者にとっては一安心できる状況になりましたが、店頭では7年産は売れてい

ない状態です。この後、米が余って来ると米の値段は下がって来ると思います。

国は8年産の生産の目安は、需要に見合った生産にすることを基本的にすると考えております。全国的には豊作で、7年産需要量を超える生産量になりました。北海道は、昨年の作況とホクレンの販売計画、国の需給見通しを考慮し、7年産の面積を維持する考えです。

農業の情勢は、食糧・農業・農村基本法の改定を決定し、政策の具体化を進めているところです。今回の米の価格を契機に、農産物の再生産可能な適正価格の設定を国に求めていくことが重要であると考えています。

農協事業では、本年の決算の見込みは、事業利益で計画を上回る見込みであります。

しかし、各部門においては厳しい事業展開となっており、将来を見据えると今から手を打って行く

必要があると考えます。3カ年計画で掲げていました営農賦課金の見直しについて、協議を重ねており、今の基準の3倍程度で提案することとしております。

また、固定資産の取得、修繕にあたっては、自己資本の強化が必要です。年々、出資金が減少している状況です。組合員皆さんの出来る範囲の中で計画的に、出資金の増口をお願い致します。

これから、たきかわ農協を取り巻く環境は厳しくなっています。が、組合員皆さんのご協力のもと進めて参りたいと考えておりますので、今以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、組合員皆さんのご健勝と本年が豊穰の年になりますことを御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

たきかわ農業協同組合

代表理事組合長

山岸

穰

専務理事

滝 孝造

常務理事

和 道宏

常務理事

高 橋 佳万

理事

櫻 田 浩生

理事

菅 井 星秋

理事

伊 藤 公一

理事

池 田 裕治

理事

岡 本 隆守

理事

堀 田 昭典

理事

川 田 能教

理事

石 川 雅彦

理事

荻 田 勝

代表監事

佐 野 昌治

常勤監事

小 澤 康之

監 事

榎 本 拓真

他職員一同

他職員一同

(株)JAたきかわサービス

代表取締役社長

山 岸 穰

取締役

滝 孝造

取締役

高 橋 佳万

他社員一同